

「あの時、このようにしてもらいたかった…」というエピソードがありましたら教えてください。

お名前を頂きました方につきましては、後日、個別にお話をさせていただきます。

この報告では匿名で公開しています。

保護者からの意見	園からの回答
<p>遠くにいる祖父母が、孫の保育園での写真を欠かさず見えています。10月から更新されていないのでとても残念がってます。会うたびに毎回言われます。忙しいと思いますが、更新してほしいです。</p>	<p>更新が遅れることがあり申し訳ございません。専門的な保育業務に集中できるよう、ウェブの管理は園長がやっておりますので、ご容赦いただきたくお願いいたします。なお、写真の枚数が多く（令和2年度は約13万枚）、現在のサーバーでは管理しきれない状況のため、2年ほど前から外部のウェブサーバーにアップしています。また、令和2年10月からはできるだけ早く更新ができるように、ウェブサイトとの関連付け（見せ方）を変更して更新しています。10月以前の見え方と少し変わっておりますので、ご不明な場合はお問い合わせください。</p>
<p>登園や降園の時に、ひとりずつ、姿勢や視線を合わせて挨拶をしてほしい。製作では、もう少し発達に沿った指先をつかった遊びを、みんなができるようにしてほしい。</p>	<p>挨拶に関しましてご意見頂きありがとうございます。保育教諭である私たちにとって、とても大事にしなければいけないことであり、あらためて大切であるということを確認致しました。気づかせていただきありがとうございます。一人ひとりのお子さんを心から受け入れ、お子さんも保護者の皆さまにも安心して頂けるよう努めてまいります。</p> <p>指先を使った遊びにつきましては、いろいろと子どもたちのあそびを見取り、発達に沿って手作りおもちゃ等も促しております。一人ひとりのお子さんの発達により“できる”という結果としてあらわれるには個人差があります。子どもたちみんなが同じようにできるようになるというよりも、子どもの成長としては、一人ひとりの遊びに向かう意欲や過程の方に育ちの重要性があるため、園では遊びの連続性を大切に、意識しながら遊びを提供するように心がけています。一人ひとりの“発達のチャンス”をのがさないよう関わりながら、その子のタイミングでできるようになっていく姿を保護者の皆さまとも、お子さんの成長の様子を共有していきたいと思っております。</p>
<p>遠足の写真をいつもみたいにとたくさん撮ってもらいたかったなと、、、あの状況では難しかったのでしょうか？</p>	<p>今年度は素早く記念になることを願ってチェキで撮影したものをお渡しすることに力を注ぎました。そのため、いつものようなたくさんの写真を撮影できず申し訳ございません。安全に配慮しつつ、親子の自然な姿が撮影できるよう、検討させていただきます。（令和3年度はインターネットでの販売サービスを提供している「はいチーズ」にプロカメラマンの派遣を申し込んでいます。閲覧は無料ですが、購入の場合は有料となります）</p>
<p>兄姉のクラスの先生で、何があってもどんな時でも「とてもかわいいですう」としか言ってくれない先生がいますが、一人一人を見てくれないのだなと感じる反応でしか無いですし、むしろ不快です。</p>	<p>不快な思いをさせてしまって、申し訳ございません。全てのご意見は園内研修（2/27、3/27）にて全教員で共有しております。改善に努めてまいります。</p>

保護者からの意見	園からの回答
<p>コロナで大変だと思いますが、劇や運動会など、もう少し練り上げられたものが見たいというのが本音です。知育にももう少し力を入れて頂きたいです。</p>	<p>フェスティバル(旧運動会)・劇あそび会ともに、子どもたちと話し合い、振り返りながら楽しんで作ってきました。自分の思いを発信したり、友だちの思いを受け入れたり、心の育ちが見られたように思います。今後も遊びを通した教育のなかで、文字や数字などにも興味を持つことができるように、環境を整えていきたいと思っています。</p>
<p>姉のことですが、卒園してから小学校に入学するまでの休校期間、こども園でのお友達は連絡先が分からず、近所の新一年生ともまだ顔を合わせていなくて、友達とのコミュニケーションが全くない状態が続いていたのが不安でした。zoomなどで集うことができたならありがたかったなと思います。</p>	<p>不安な日々でしたね。その時期に気づいてあげられず、申し訳ございませんでした。有事の際には、いろいろとお困りのことが発生することと思います。園としてはご意見をいつでもお聞きしたいと思っていますので、お気軽にご提案いただけたら嬉しいです。</p>
<p>園の駐車場が変わりとても不便になった。路上駐車も増え車で横切る時に危険を感じる時もある。ひまわりこども園と悩んだ際に駐車場が便利だなと思いみどりこども園を選んだ部分も大きいのでとてもそこは残念だと思う。</p>	<p>不便になってしまい申し訳ございません。その分、子どもの遊び場が増え、遊びが深まるように願っていますのでご協力をよろしくお願いいたします。 歩行者専用道路規制を現状に合ったものにすることや、路上駐車 の安全確保については、今後、しっかりと考えていきたいと思 います。</p>
<p>持って行くもののお便りが少し分かりづらいです</p>	<p>今後も写真などで分かりやすくお伝えしていきますが、不明な点がありましたら、お気軽にお声がけください。</p>
<p>制作品を作ってくるが、作ったことに満足しているだけな気がする。実際帰ってきてからそれを使って遊ぶことは無い。年齢にあわせ、作るまでの過程を楽しむ、作ったあとからも楽しめるなどの制作品を希望する。また、個人個人ではなく、みんなでひとつのものを作る、表現するを見てみたい。仲間と力を合わせる姿をみたい。運動会のパルパル?はとてもよかった。</p>	<p>子どもたちは、自分のイメージを表現し、作品として制作するという創造力を持っています。出来上がったものだけでなく、その過程を楽しむこともあります。作品として形になったものは、本人にとってとても大切なものとして持ち帰るということに、その子の満足感、達成感が満たされ、お家の方に見てもらいたいという思いもあるかと思います。創造力には個人差もあり、主体性を大切にしているということもあり、年齢に合わせるというだけでなく本人の興味にあった大切な空間を提供する保育を展開しています。そこで、一人ひとりの作品等、その子の気持ちの表れと受け取り、私たちも大切にしています。 みんなで一人ひとりの表現を生かすという保育や活動も、今後子どもの発意を大切に遊びの中から仲間と力を合わせるといった協調性の芽生えにつながっていく保育に展開していきたいと思 います。</p>

保護者からの意見	園からの回答
<p>コロナで難しいとは思いますが、未満児も、運動会や発表会で少しでもいいから出番があったらよかったですなと思いました。競技や演目がみてみたかったです。実際見なくても、普段の様子がわかる動画などもあったらぜひみたいなと思いました。</p>	<p>未満児クラスの運動会に関しましては、コロナ禍ということだけでなく、その年齢の発達も考慮し、一番は楽しむことが出来る年齢であるか、また、無理なく心身の成長にあった行事であるかどうかと考え検討し、以上児からの参加としておりました。内容につきましても、密を防ぐという安全面を考慮しつつ“子どもたちが無理なく参加し、楽しむことは？”とはどのようなものか、どのように展開していこうかと話し合いを重ね、子どもたちが喜ぶ姿を想像しながら決めてまいりました。ご了承ください。</p> <p>“普段の様子がわかる動画”、について、職員も何度か考えてみたり、行ってきたりしましたが、子どもの夢中になっている遊び(瞬間)を止めずして、ありのままの姿、普段の姿を撮ることに難しさを感じています。(カメラを向けると意識してしまうため)</p> <p>クラスだよりや会話を通して普段の様子が伝わるよう努めてまいります。</p>
<p>このコロナ禍で難しいのはわかるのですが、保育参加、イベントボランティアがなく、子供達の様子を直に見れなくてさみしいです。運動会も他のクラスが見れず、また、観客席枠から出れないので、角度的に我が子の姿が全く見えなかつたりで、さみしかったなとおもいました。</p> <p>外部の写真が写りはすごく鮮明できれいですが、金額が高いなーと感じます。</p>	<p>令和 3 年度は保育参加を少しずつ再開していけるよう検討してまいります。イベントボランティアについても、コロナの状況を考慮しながら、再開できるように検討してまいります。</p> <p>プロが撮影する写真について、料金は卸値価格となっており、園として設定できる最も安い価格での販売となっています。業者さんと協議をしてみたいと思いますが、今よりも安くすることは難しいかもしれません。プロカメラマンの派遣・撮影には料金が発生しない仕組みのため、今後の販売枚数によっては、サービスの終了が考えられますことをご了承ください。</p>
<p>保育参加について、事情色々ありますが再開してほしいです。子供は年々成長して大きくなりますから今の姿を目に焼き付けたいし、昨年との成長を見ることで子供をもっと好きになれると思います。</p>	<p>令和 3 年度は保育参加を少しずつ再開していけるよう検討してまいります。</p>
<p>強いて言うなら、劇遊び会をせめてもう 1 人見に行ける様にさせていただけるとありがたかったです。でも感染対策のため致し方ないこと…開催して頂いただけでも、感謝しております。</p>	<p>別の会場での中継映像や、Youtube 生配信なども検討しておりましたが…、令和 2 年度は対面で見ってもらうための対策や工夫に力を注ぎました。令和 3 年度も感染対策が必要になることが予想されますが、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>先生の中で、保護者に対し、言葉遣いあまり良くない先生が居るのが残念に思います。皆さん、明るく優しいと思いますが、敬語ではなく、タメ口で喋る先生が目立つので、子供の前では特に気を付けて欲しいです。</p>	<p>大変申し訳ありません。不快な思いをなされたことと思います。今回の率直なご意見を真摯に受け止め、職員一同、あらためて気を付けていきたいと思っております。</p>

保護者からの意見	園からの回答
<p>園でひらがなの読み書きをそんなにしていないようなので小学校に上がるのが不安です。上の子のときはワークがあってひらがなの練習をしていたと思うのですが。</p>	<p>幼児期には大人が直接教え込むことで、損なわれてしまうものがたくさんあります。「字の読み書きを教えること」もそのうちの一つです。幼児期の子どもたちは、遊びや生活を通して文字や数字に興味関心を持つようになります。身のまわりで使われている文字や数字に興味を持ち、文字によって伝えたいことが人に伝わる喜びを感じたり、文字や数字があることで便利になることに気づいたりします。幼児期の子どもたちに読み書きを教え、子どもたちが習得することは可能ですが、幼児期の教育の目的は、読み書きができるようになることではないので、ワークの取り扱いは十分な注意が必要であると考えておりました。</p> <p>伝えたい思いが十分に育つ前に字の書き方を教わると、字が書けること自体を喜び、表現の喜びや関心の広がりはそので止まってしまう恐れがあるのではないかと。また、絵本を大人に読んでもらうべき時期に、文字の読み方を教えられた子は、文字に対する発音の仕方はわかっていても、連なった文字から物語のイメージを膨らませる喜びは十分に味わえないのではないかと。そのような不安がありましたので、上の子のときには一律にみんないっしょにやっていたワークを取りやめ、伝えたい思いを十分に育むことや、表現の喜びを味わうこと、その関心の広さを拡げることをしっかりと保障することに力を注ぎました。</p> <p>今後も、経験の中のさまざまなイメージが心いっぱい広がる、そんな言葉に対する豊かな感性を幼児期に育むことを願って、ワーク的な教材の扱い方を再考し、学習のテキストとしてや補助としてではなく、幼児期の発達にあった興味に応えるものとして活用することを意識していきます。また、一人ひとりが興味を持ち始めた時に、その子の発意から始められるよう、環境として用意していこうと思っております。幼児期に十分育った力が、小学校以降の学習を支え、より豊かな学びになっていきます。幼児期は少し見えにくい力を育てていますので、不安になることと思えます。そのような特性があることを踏まえ、今後はより丁寧に説明をしていきたいと思えます。</p>
<p>学年ごとの運動会で、観覧者の人数制限がありました。公園の外や遊具がある所から見学している人はいたので、それはいいという事を教えてもらいたかった。</p>	<p>こども園としては、保護者の皆様にお知らせ致しておりましたように、指定の場所での観覧をお願いしておりました。みどり公園での観覧はご遠慮いただきおりました…。今後、皆様が気持ちよく行事に参加して頂けるよう、決まり事についても、より丁寧にお伝えしていきたいと思っております。子どもたちのためにもより豊かな経験や思い出となるようにするには、保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠となります。日頃よりこども園に、理解とご協力を頂いていることを感謝いたしております。今後もお子さまの為に、保護者の皆様お一人おひとりの良心のもと行動していただけますようお願い申し上げます。</p>

保護者からの意見	園からの回答
<p>兄弟が在園の時からのことなのですが。懇談の際、園での成長を書面でもらうことがありましたが、様式や時期がコロコロと変わったり、あったり無かったりで、継続した成長の記録がなく残念です。</p>	<p>様式や時期の変更について、説明が足りずに残念な思いをさせてしまい申し訳ございません。以前、みどりこども園では未満児(0～2歳児)クラスの「成長の記録」は無く、3歳児クラスから「成長の記録(旧:観察表)」をお渡ししておりました。平成28年度以降、保育の見直しを行うなかで、『0歳児クラスからすべての子ども達の成長を保護者の皆さまにお伝えしたい』という思いが芽生え、職員間で話し合いを重ねました。その中で、従来の観察表について、方向目標であるはずの幼児期の育ちを、達成目標的な表現になっているのではないかという疑問を持ち、0歳児からの記録として様々な様式や時期について検討を重ねました。その過程で、『子どもの姿を見取る中、日々の一人ひとりの成長に気づかされ、その子の様子をお伝えするタイミングが違ってくるというのが“主体性を大切にする保育”の中では本来考えなければいけないのでは』という思いが深くなり、今の様式と時期に至りました。こども園は、未満児のお子様もお預かりをし、3歳児以上のお子さんの教育だけではなく“未満児の発達に沿った教育とはどんなことか”と、日々考えながら保育を進めています。乳幼児の育ちの中でも、人と関わることから信頼が生まれ、はじめてその子自身のいろいろな育ちの芽生えがあると感じています。その中で教育とは、一つ一つの関わりの中で、保育教諭の心を伝える言葉であったり、触れることであったり、その大切さを感じながら、その子の一番安心できる環境を作り出し、お子さんの表情や発する声を聴き取りながら姿や心境を見取っていき、必要とするタイミングであそびのきっかけを作り出すことだと感じています。また、一人ひとりのお子さんから芽生えた育ちの要素を入れ込み、ほかのお子さんの育ちを助長するように、あそびや遊具を生かし関わることだと思っております。そのような未満児の教育の過程を通り、3歳児以上の学校教育としての始まり、また、5歳児に関しては就学前教育、主体性を意識し、集団の中でいかに一人ひとりの育ちを育むかという保育を行っております。成長の記録は未満児から5歳児のお子さん全園児にお渡しするものですが、その記録は、結果としてだけではなく連続性の遊びを通してドキュメントとして捉えるようにしているのが今の保育現場になっております。そのような意識から、様式の継続はできていないこととなりますが、保育を見取る視点を大切にしてお渡ししております。しかしながら、ご意見はもっともだとも捉えております。お子さんの成育の中での成長の様子は、保護者の皆さまの喜びであり、記録にある歩んだ過程は、お子さん自身の将来につながっていると感じる大切なものであると感じております。今後も、様式やお渡しする時期なども変化していくこともあるかもしれませんが、その際は、その理由について、できるだけ丁寧に説明させていただきます。また、その要因には、保育者一人ひとりの真剣な眼差しと思いがあると感じていただけたら幸せです。</p>

